株主メモ

- ●上場証券取引所　東京証券取引所 市場第二部
- ●証券コード　4119
- ●単元株式数　1,000株
- ●事業年度　4月1日から翌年3月31日まで
- ●定時株主総会　6月中
- ●基準日　定時株主総会　3月31日
  期末配当金　3月31日
- ●株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
  三菱UFJ信託銀行株式会社
- ●同連絡先　三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
  〒137-8081
  東京都江東区東砂七丁目10番11号
  TEL 0120-232-711（通話料無料）
- ●単元未満株式買取手数料および買増手数料
  無料
- ●公告掲載方法　電子公告といたします。
  当社ホームページアドレス
  http://www.pigment.co.jp/
  （ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。）

【株式に関するお手続きについて】

○証券会社等でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社等
お手続き・ ご照会の内容	○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定　等
留意事項	未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

○特別口座に記録された株式をご所有の株主様

お手続き お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
手続用紙の ご請求方法	音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479（通話料無料） インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
お手続き・ ご照会の内容	○特別口座から一般口座への振替請求 ○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定（＊） ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会　等
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。 売却するには、証券会社等に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

（＊）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

株主のみなさまの声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主のみなさまの声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 4119
いいかぶ　検索

空メールにより URL自動返信　kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます　QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細　http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）MAIL:info@e-kabunushi.com

日本ピグメント株式会社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町三丁目20番地
TEL 03-6362-8801 FAX 03-6362-8808
http://www.pigment.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK
この報告書は、環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しております。

UD FONT
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

証券コード：4119

Interim Business Report

第79期 中間報告書　2014.4.1—2014.9.30

世界を彩る、日本ピグメント

暮らしに色があるかぎり、
わたしたちは、提供しつづけます。

Pigment 日本ピグメント株式会社

経営理念

私ども日本ピグメントは、次の4つの理念を使命として、色彩関連製品を提供するとともに、人と自然環境の融合を理念においた製品作りを目指しております。

経営理念

1. **色彩を通じて、ゆとりのある生活をみなさまに提供し、社会の繁栄に寄与します。**
2. **グローバリゼーションの中で、地域社会との調和と共生を目指します。**
3. **技術革新・サービス向上に努め、お客様のニーズに合った環境に配慮した高品質の製品作りを目指します。**
4. **個性溢れる人材を育成し、創造性豊かで活力のある企業集団を目指します。**

トップインタビュー

株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社グループは、企業価値向上に向けて今後とも全力を尽くしてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

取締役社長 **加藤 龍巳**

Q 第79期上期の業績と経営環境について教えてください。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税率引き上げに伴う影響により一時的な落ち込みは見られましたが、一部では持ち直しの動きもみられました。一方、我が国経済の先行きとしては、政府による経済政策を背景に回復基調にあるものの、駆け込み需要の反動の長期化や原材料価格の高止まり等の影響による景気の下振れも懸念され、不透明な状況が続いております。

このようななか当社グループの国内での販売は、自動車産業向けにおいては、駆け込み需要の反動による生産台数の減少も持ち直し、住宅産業向けにおいては復興需要等もあり概ね想定通りに推移しましたが、家電産業向けの一部においては想定を大幅に下回ることとなりました。また、東南アジア地区の販売は、インドネシアの底固い需要はあるものの、他地域においては想定を下回ったため、全体としては低調に推移しました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は20,871百万円(前期比3.9%増)となりましたが、とりわけ樹脂用着色剤の販売の伸び悩みと販売商品構成の悪化に加え、エネルギー価格の上昇もあって、経常利益は101百万円(前期比34.4%減)、四半期純利益は81百万円(前期比48.4%減)となりました。

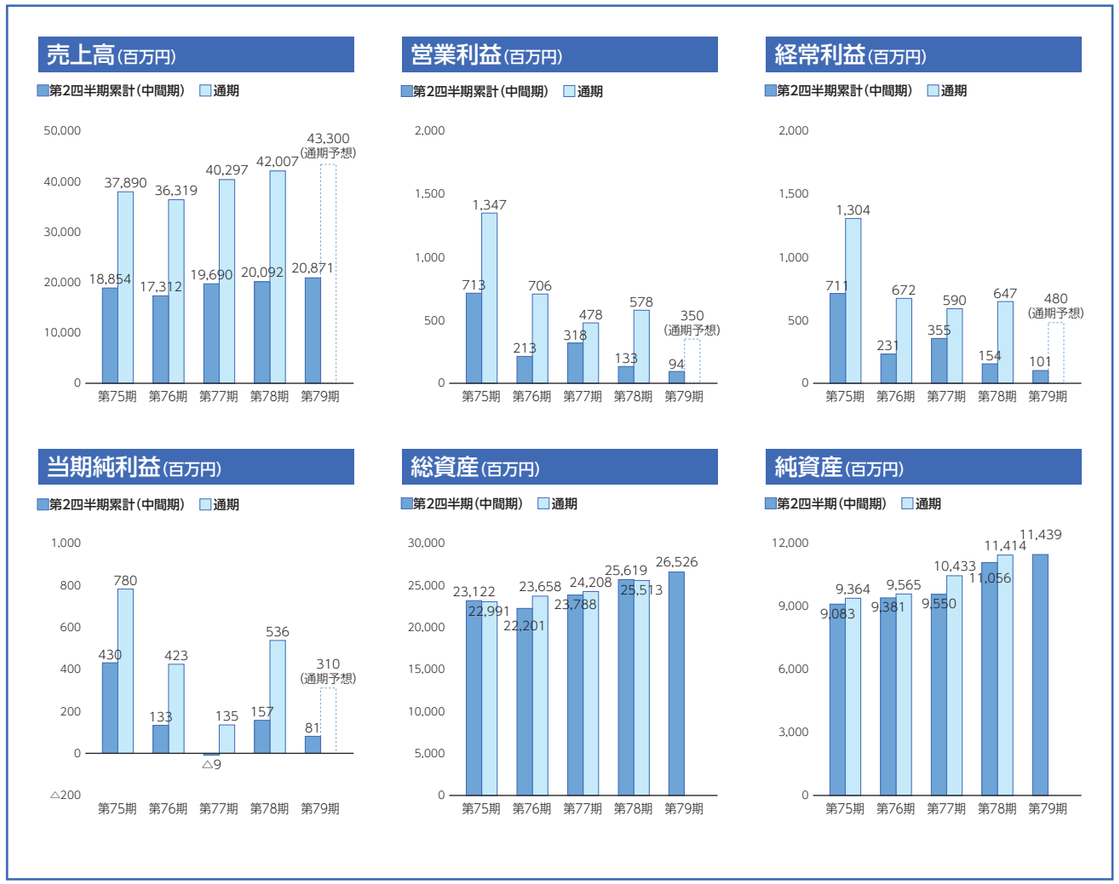
Q 下期の見通しを教えてください。

日本国内は、政府の各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されますが消費税率引き上げに伴う、駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れ等不透明な状況が予想されます。当社グループにおいては、引き続き生産効率の向上など合理化の推進に取り組むとともに、高付加価値製品の拡販、海外での需要の捕捉に努め、業績予想を達成できるよう努めてまいります。

連結財務諸表

●財務ハイライト

国内においては、樹脂コンパウンド部門は堅調に推移しましたが、樹脂用着色剤部門の販売の伸び悩みと販売商品構成の悪化等、海外においては、全体として受注が伸び悩んだことから、増収、減益となりました。



●四半期連結貸借対照表（要旨）

(単位:百万円)

	科　目	当第2四半期末 2014年9月30日現在	前期末 2014年3月31日現在
	資産の部		
1	流動資産	13,368	13,134
2	固定資産	13,158	12,379
	有形固定資産	8,446	8,726
	無形固定資産	55	60
	投資その他の資産	4,655	3,592
	資産合計	26,526	25,513
	負債の部		
3	流動負債	10,709	10,642
4	固定負債	4,377	3,456
	負債合計	15,086	14,099
	純資産の部		
	株主資本	10,480	10,492
	資本金	1,481	1,481
	資本剰余金	1,047	1,047
	利益剰余金	7,966	7,978
	自己株式	△15	△14
	その他の包括利益累計額	171	104
	少数株主持分	787	817
5	純資産合計	11,439	11,414
	負債純資産合計	26,526	25,513

Point.1 流動資産について

流動資産は13,368百万円と前期末の13,134百万円に比べ234百万円の増加となりました。この主な要因は製品、原材料及び貯蔵品が290百万円増加したことなどによるものです。

Point.2 固定資産について

固定資産は13,158百万円と前期末の12,379百万円に比べ778百万円の増加となりました。この主な要因は有形固定資産が279百万円減少したものの、投資有価証券が1,099百万円増加したことなどによるものです。

Point.3 流動負債について

流動負債は10,709百万円と前期末の10,642百万円に比べ66百万円の増加となりました。この主な要因は短期借入金が270百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が313百万円増加したことなどによるものです。

Point.4 固定負債について

固定負債は4,377百万円と前期末の3,456百万円に比べ920百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金が911百万円増加したことなどによるものです。

Point.5 純資産について

純資産合計は11,439百万円と前期末の11,414百万円に比べ25百万円の増加となりました。

連結財務諸表

●四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期累計 自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日	前第2四半期累計 自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日
売上高	20,871	20,092
売上原価	19,340	18,545
売上総利益	1,531	1,547
販売費及び一般管理費	1,437	1,413
6 営業利益	94	133
営業外収益	99	124
営業外費用	92	104
経常利益	101	154
特別利益	63	19
特別損失	16	3
税金等調整前四半期純利益	148	170
法人税、住民税及び事業税	47	40
法人税等調整額	13	△26
少数株主損益調整前四半期純利益	87	157
少数株主利益	6	0
7 四半期純利益	81	157

Point.6　営業利益について

営業利益は、国内での樹脂用着色剤部門での販売商品構成の悪化などから94百万円となり前年同四半期に比べ39百万円の減少となりました。

Point.7　四半期純利益について

四半期純利益は、81百万円となり前年同四半期に比べ76百万円の減少となりました。

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期累計 自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日	前第2四半期累計 自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日
8 営業活動による キャッシュ・フロー	662	△102
9 投資活動による キャッシュ・フロー	△1,188	△325
10 財務活動による キャッシュ・フロー	546	298
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	115
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△10	△13
現金及び現金同等物の期首残高	2,077	2,779
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	–	△6
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,066	2,759

Point.8　営業活動によるキャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の収入は662百万円となりました。これは、仕入債務の増加等によるものです。前年同四半期連結累計期間は資金の支出が102百万円でした。

Point.9　投資活動によるキャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の支出は前年同四半期連結累計期間と比べ863百万円増加し、1,188百万円となりました。これは、関係会社株式の取得による支出等によるものです。

Point.10　財務活動によるキャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の収入は前年同四半期連結累計期間と比べ248百万円増加し、546百万円となりました。これは、主に金融機関からの借入の増加によるものです。

セグメント別概況

日本

国内では、消費税率引き上げ後の影響を受けたものの、一部においては夏場以降脱却の動きが見られました。

部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、消費税率引き上げに伴う影響を一部で受けたものの、主に自動車産業向けエンジニアリングプラスチックの需要は、比較的堅調に推移しましたことから想定を若干上回る結果となりました。

樹脂用着色剤部門は、建材産業向けの需要に支えられてはおりますが、家電産業向けの一部においては回復傾向がみられるものの厳しい状況からの脱却には至らず、想定を大きく下回る結果となりました。

最後に加工カラー部門は、建材産業向け需要に支えられたものの全体では想定を若干下回る結果となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,949百万円（前期比5.6％増）、営業損失は41百万円（前期営業損失26百万円）となりました。

東南アジア

東南アジアは、インドネシアにおいては国内需要が堅調であることもあり、OA関連向け、自動車関連向けが比較的順調に推移いたしましたが、全体としては、タイ、中国向け輸出の不冴え等で受注が伸び悩んだことから当第2四半期連結累計期間の売上高は8,353百万円（前期比1.3％減）、営業利益は133百万円（前期比18.6%減）となりました。

その他

その他は、中国での日系自動車関連の受注回復により当第2四半期連結累計期間の売上高が568百万円（前期比77.0％増）、営業利益は2百万円（前期営業損失3百万円）となりました。

日本ピグメントを知る　どのようにプラスチックに色をつけてるの?

みなさまに日本ピグメントをよりよく知っていただくため、当社製品の用途・事業内容・特長などを、わかりやすくご紹介いたします。

内部着色による方法でプラスチックの着色加工を行っております

プラスチックの着色方法は、着色剤をプラスチックに分散するなどによる「内部着色」と、塗装や印刷などによる「外部着色」があり、当社は内部着色による方法でプラスチックの着色加工を行っております。これらは、使用するプラスチック・成形方法などの違いによってさまざまな着色方法がとられていますが、いずれの方法においても、染・顔料を短時間で均一に分散させることが要求されます。

以下は、プラスチック材料に着色剤を分散し、プラスチックの着色・高機能化を図るための製造工程の一例です。

工程1

プラスチック材料と着色剤・添加剤などの材料を独自の配合で投入し、混合します。

工程2

混合した材料を、受けバットという入れ物にストックし、特性に適合した製造ラインに投入します。

工程3

製造ライン設備のエクストルーダーにて材料を混練し、着色剤を分散させるとともに、必要に応じて強化剤などを添加し、ペレット状のプラスチックコンパウンドを製造します。

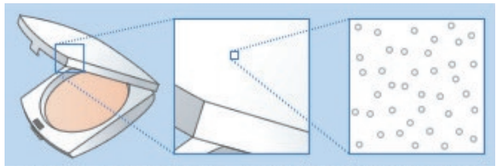
工程4

プラスチックコンパウンドを、発注単位に合わせたロットサイズで梱包いたします。

プラスチックコンパウンド

【分散とは?】

ある物質の中に、その物質とは異なる別の物質が細かい粒子となって均一に散らばっている現象、あるいはその現象を作り出すことです。
プラスチックを着色するには、顔料粒子を細かくして、着色したいプラスチックに混ざりやすくなるように加工しプラスチックに分散させます。



たとえば、化粧品のコンパクトの白いケース。私たちの目には白色に見えますが、拡大してみると白色の顔料粒子がプラスチックに分散しています。

当社の分散技術は、長年蓄積してきたコアテクノロジーであり、粒子をナノレベルまで微細化・分散させるなど高度技術を駆使し、先端分野にも貢献しています。

【エクストルーダーとは?】

プラスチック材料と着色剤・添加剤を混練することで分散させる設備です。

～　当社のテクノロジー　～

情報電子材料、情報家電、OA機器、自動車内外装部品、工業部品、包装材、容器、日用品などのあらゆる市場において新しいニーズに応えるため、当社の強みである高分散技術、着色剤・添加剤配合技術、生産技術を融合することで、付加価値の高い研究開発活動を展開しています。

各種汎用プラスチックからエンジニアリングプラスチック、環境に配慮した生分解性プラスチックまで広範囲なプラスチックコンパウンドの開発を手掛けています。

会社の概要 (2014年9月30日現在)

●概要

●会社名 日本ピグメント株式会社
(Nippon Pigment Company Limited)

●本社所在地 東京都千代田区神田錦町三丁目20番地

●代表者 取締役社長 加藤 龍巳

●創業 1925年(大正14年)

●事業内容 樹脂コンパウンド…… プラスチック成形用材料
樹脂用着色剤…… プラスチック着色剤
加工カラー…… 塩化ビニール着色剤等
ピグメントカラー…… 塗料用、印刷インキ用等

●資本金 14億8,115万円

●株式 東京証券取引所市場第二部上場

●国内拠点・海外拠点

●本社・営業部門
- ・本社・東京支店
- ・大阪支店
- ・名古屋支店

●生産部門
- ・埼玉川本工場(埼玉県)
- ・大阪工場(大阪府)
- ・東京ピグメント㈱(埼玉県)
- ・ニッピ化成㈱(埼玉県)
- ・名古屋ピグメント㈱(愛知県)
- ・大阪ピグメント㈱(奈良県)

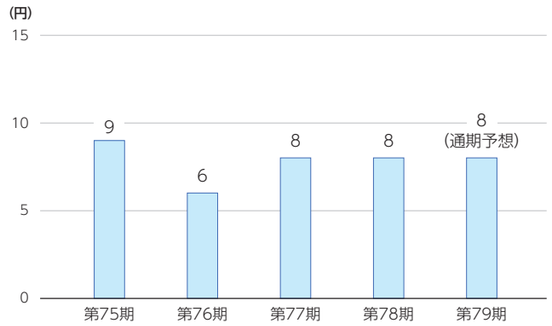
●海外
- ・Nippon Pigment (S) Pte. Ltd.(シンガポール)
- ・Nippon Pigment (M) Sdn. Bhd.(マレーシア)
  [Head Office and Shah Alam Plant]
  [Penang Plant]
- ・P.T.Nippisun Indonesia(インドネシア)
- ・天津碧美特工程塑料有限公司(中国)
- ・NPK Co.,Ltd.(韓国/持分法適用関連会社)
- ・上海新素材特種聚合物有限公司(中国/持分法適用関連会社)

株式の概要（2014年9月30日現在）

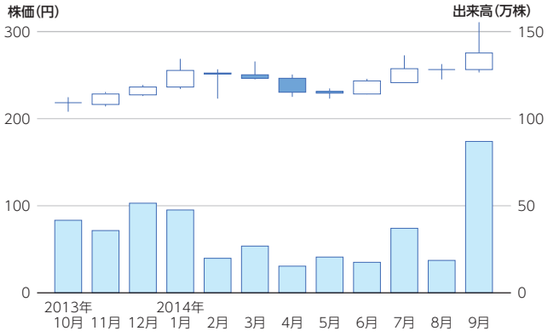
●株式の状況

●発行可能株式総数	30,000,000株
●発行済株式総数	15,758,994株 （うち自己株式50,619株）
●株主数	1,872名

●配当金の推移



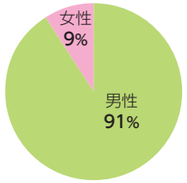
●株価チャート（月足）



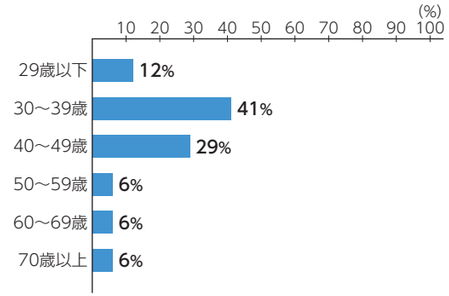
株主アンケート結果

当社では、第78期報告書送付の際に、株主様向けアンケートを実施いたしました。アンケートの結果について抜粋してご報告いたします。

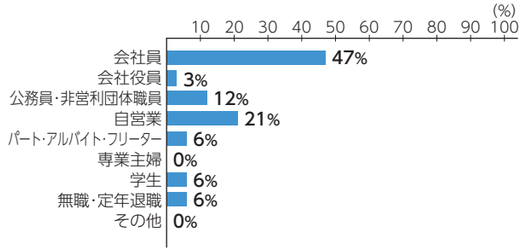
●あなたの性別をお知らせください。



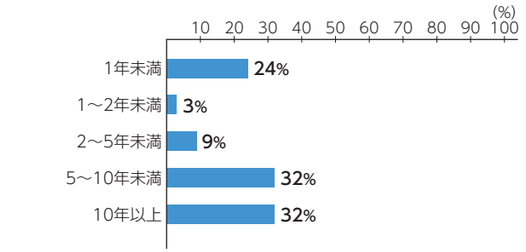
●あなたの年齢をお知らせください。



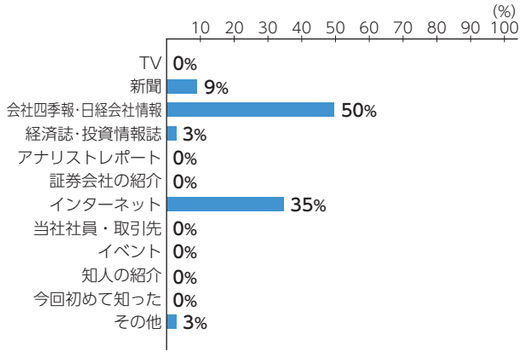
●あなたのご職業をお知らせください。



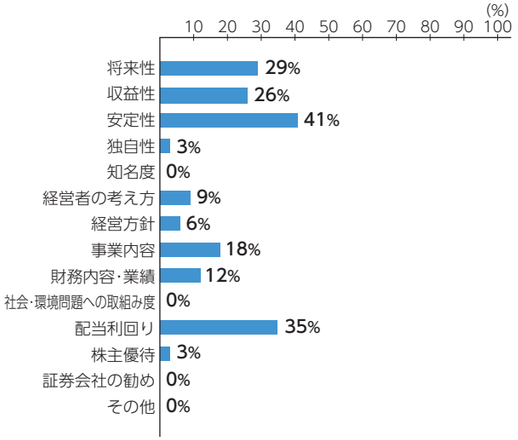
●あなたは株式投資を始めて、どのくらいになりますか。



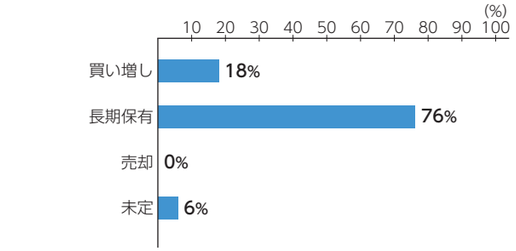
●あなたは当社をどこでお知りになりましたか。



●あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。



●あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。



このたびは、アンケートにご回答いただきまして、ありがとうございました。あらためて御礼申し上げます。

今回いただきましたご回答を、今後の参考にさせていただきます。